



IP 電話機操作ガイド

IP ADVANCED RADIO SYSTEM IP200H

はじめに

1 基本操作

2 応用操作

3 デュアルモード時の操作

4 各種機能の設定(メニュー画面)

Icom Inc.

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本製品は、IP無線機にWLAN無線機、IP電話機を搭載したハイブリッド無線機です。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、本製品の性能を十分発揮していただくとともに、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

本製品の特長

- ◎IP無線機(LTE)、WLAN無線機、IP電話機を搭載したハイブリッド無線機
- ◎LTE(ドコモ網/au網)、WLAN(無線アクセスポイント)、IP電話(SIPサーバー)モードに対応
- ◎デュアルSIMに対応
- ◎Bluetooth接続に対応
- ◎IP57の防塵/防水性能

取扱説明書の構成について

本製品の取扱説明書は、本製品に付属の「ご使用になる前に」と「ご利用ガイド」(別紙)、弊社ホームページに掲載の「取扱説明書」(PDFファイル)、「IP電話機操作ガイド」(本書)で構成されています。

ご使用になる前に/ご利用ガイド(別紙)

はじめて本製品をお使いになる前に、知っておいていただきたい安全上のご注意や本製品の基本的な操作方法などについて記載しています。

取扱説明書(PDFファイル)

IP無線機、WLAN無線機モードでの各種機能や使用方法、別売品などについて記載しています。

※本書に記載されている内容は、2020年10月時点の情報です。最新の情報は、ウェブサイトでご確認ください。

IP電話機操作ガイド(本書)

IP電話機モードでの各種機能や使用方法について記載しています。

取扱説明書の内容について

本書に記載の操作や機能は、お買い上げの販売店であらかじめ設定をご依頼いただくことにより使用できる機能も含まれています。

一般的なご使用を想定した内容にしていますので、ご使用になる機能や操作について詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

※本製品の仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。

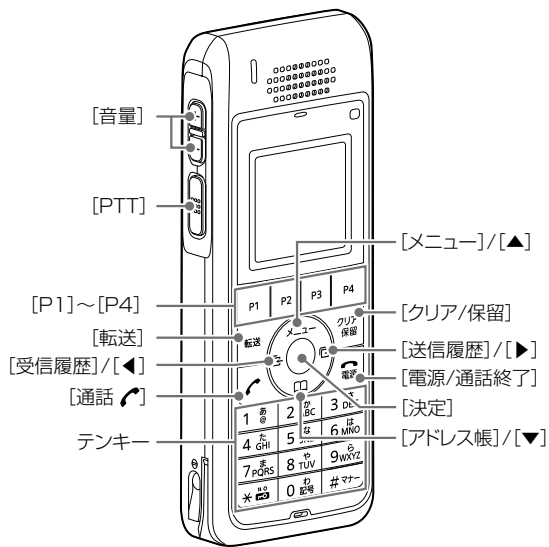
登録商標/著作権について

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴ、ポケットビーブは、アイコム株式会社の登録商標です。Bluetoothのワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、アイコム株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他、本書に記載されている会社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、®などのマークを省略しています。本書の内容の一部または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

| | |
|-------------------------------|------|
| ■ 各キーの使いかた | 1-2 |
| ■ 電話番号を入力して電話をかける(内線発信) | 1-3 |
| ■ 電話番号を入力して電話をかける(外線発信) | 1-4 |
| ■ 電話帳からかける | 1-5 |
| ■ 通話履歴から電話をかける | 1-6 |
| ■ 着信に応答する(内線着信) | 1-7 |
| ■ 着信に応答する(外線着信) | 1-7 |
| ■ 電話を保留する(自己保留) | 1-8 |
| ■ 電話を転送する(応答前転送) | 1-9 |
| ■ 電話を転送する(応答後転送) | 1-10 |
| ■ 電話を転送する(パーク保留/応答) | 1-11 |

1 基本操作

■ 各キーの使いかた



| | |
|---------------------------|--|
| [音量] | 音量を調整します。 |
| [PTT] | キーを押しているあいだ、送信状態になります。 |
| [P1]~[P4]* (プログラマブルキー) | 各機能を割り当てできます。(P.3-12) |
| [メニュー]/[▲] | 待受画面時 : メニュー画面を表示します。 メニュー画面時 : 項目を1つ上に移動します。 |
| [受信履歴]/[◀] | 待受画面時 : 受信履歴を表示します。 メニュー画面時 : 階層を1つ戻ります。 |
| [送信履歴]/[▶] | 待受画面時 : 送信履歴を表示します。 メニュー画面時 : 階層を1つ進みます。 |
| [アドレス帳]/[▼] | 待受画面時 : アドレス帳を表示します。 メニュー画面時 : 項目を1つ下に移動します。 |
| [決定] | 設定項目の選択、メッセージやプレゼンスの送信をします。 |
| [転送] | 電話の転送、電話帳画面における検索、文字種類変換に使用します。 |
| [クリア/保留] | 電話通話中 : 保留/保留解除します。 メニュー画面時 : 階層を1つ戻ります。 |
| [通話] | IP電話機 : 発信/応答します。 通話中 : 長押し(約1秒)すると、ハンズフリー機能のON/OFFを切り替えます。 |
| [電源/通話終了] | 短押し : 電話通信時の通話を終了します。 メニュー画面から待ち受け画面に戻ります。 長押し : 電源のON/OFF |
| テンキー | 電話発信時のテンキー、検索時の文字入力、キーロック、マナーモードの設定に使用します。 |

※上表に記載されている★印の機能は、お買い上げの販売店で設定されている場合に使用できます。

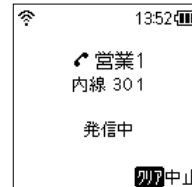
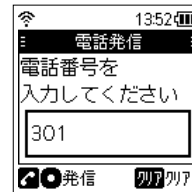
1 基本操作

■ 電話番号を入力して電話をかける(内線発信)

1. 電話番号を入力する

待受画面でテンキーを押し、電話番号を入力します。

[クリア/保留]を押すと1文字削除、長押しするとすべて削除します。



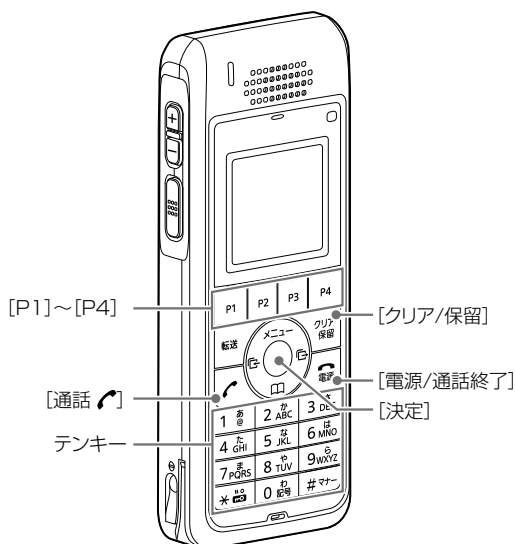
2. 電話をかける

[通話]、または[決定]を押します。

- プログラマブルキー([P1]~[P4])に内線が割り当てられているときは、プログラマブルキーのLEDが緑色に点灯します。

3. 通話を終了する

[電源/通話終了]を押します。



バイブレーション機能について

お買い上げの販売店でバイブレーション機能が設定されている場合は、振動でも受信を確認できます。

操作時の確認音について

お買い上げの販売店の設定により、キーを操作したときに確認音が鳴ります。

通知音について

お買い上げの販売店の設定により、受信や圏外などを音で確認できます。

バックライトについて

お買い上げの販売店の設定により、バックライトが動作します。

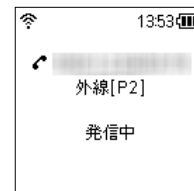
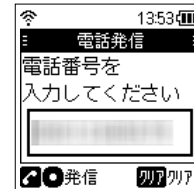
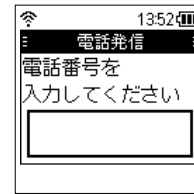
1 基本操作

■ 電話番号を入力して電話をかける(外線発信)

1.使用する外線を選択する

外線キーが割り当てられているプログラブルキー([P1]～[P4])を押します。

プログラブルキーのLEDが緑に点灯します。



2.電話番号を入力する

電話発信画面でテンキーを押し、電話番号を入力します。

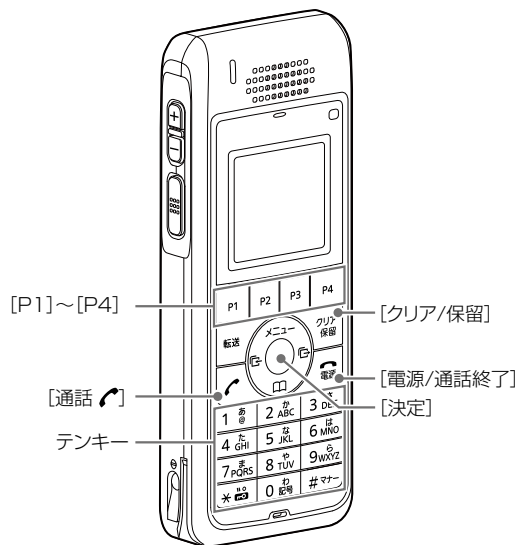
[クリア/保留]を押すと1文字削除、長押しするとすべて削除します。

3.電話をかける

[通話]、または[決定]を押します。

4.通話を終了する

[電源/通話終了]を押します。



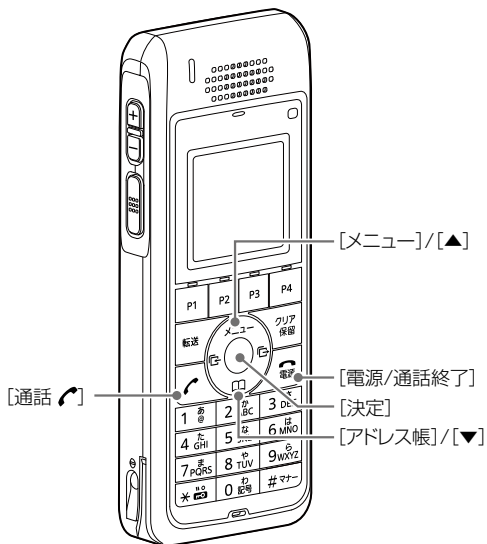
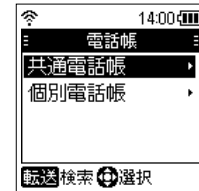
1 基本操作

■ 電話帳からかける

本製品で使用するアドレス帳は、お買い上げの販売店で設定が必要です。

1. 電話帳を開く

1. [アドレス帳]を押します。
※メニュー⇒アドレス帳からも選択できます。
2. [▲]/[▼]を押して、「電話帳」を選択し、[決定]を押します。
※「IP電話機モード」時は「電話帳」だけ表示されます。
3. [▲]/[▼]を押して、「共通電話帳」、または「個別電話帳」を選択し、[決定]を押します。



1 基本操作

■ 通話履歴から電話をかける

履歴機能は、お買い上げの販売店で設定が必要です。

1.着信/発信履歴を開く(例：発信履歴)

1. [送信履歴]を押します。
※受信履歴から通話相手を選択する場合は、[受信履歴]を押します。
※メニュー⇒送信履歴/受信履歴からも選択できます。
2. [▲]/[▼]を押して、電話発信履歴を選択し、[決定]を押します。
3. [▲]/[▼]を押して、相手先(例：営業1)を選択します。

2.電話をかける

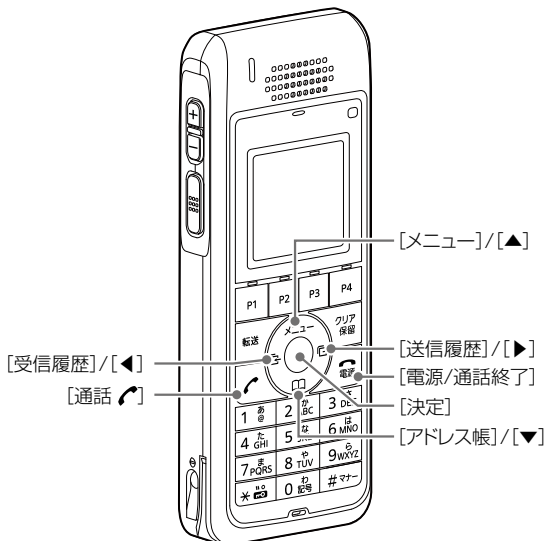
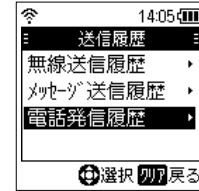
通話する相手を選択した状態で、[通話]を押します。

3.通話を終了する

[電源/通話終了]を押します。

履歴について

各履歴は10件まで記憶され、10件を超えると、古い履歴から自動的に消去されます。



1 基本操作

■ 着信に应答する(内線着信)

1.着信に应答する

着信画面で[通話]、または[決定]を押して、着信に应答します。
※内線キーが割り当てられているプログラマブルキー([P1]～[P4])を押して、应答することもできます。



2.通話を終了する

[電源/通話終了]を押します。

■ 着信に应答する(外線着信)

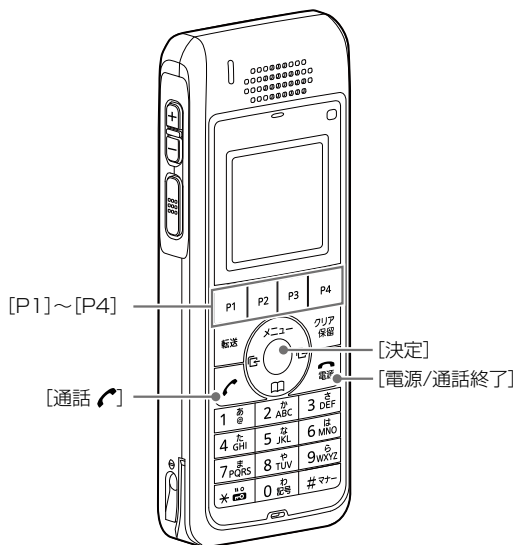
1.着信に应答する

着信画面で[通話]、または[決定]を押して、着信に应答します。
※外線キーが割り当てられているプログラマブルキー([P1]～[P4])を押して、应答することもできます。

※サーバー側の設定によっては[通話]で应答できないことがあります。

2.通話を終了する

[電源/通話終了]を押します。



1 基本操作

■ 電話を保留する(自己保留)

1.保留にする

通話画面で[クリア/保留]を押して、保留にします。

2.保留を解除する

保留中に[クリア/保留]を押して、保留を解除します。

ご参考

サーバー側の設定で、[クリア/保留]に「保留」が割り当てられている場合は、外線通話時は外線保留、内線通話時はパーク保留にします。



1 基本操作

■ 電話を転送する(応答前転送)

1.通話中に転送保留にする(転送元)

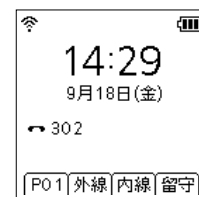
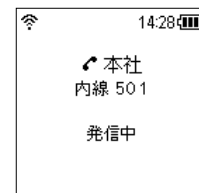
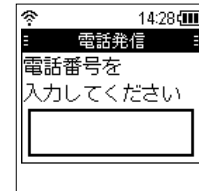
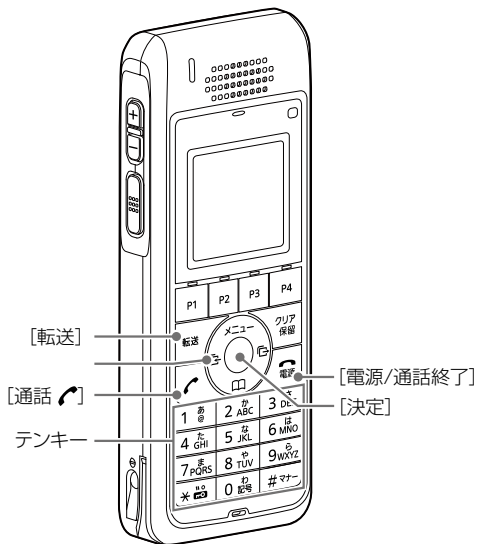
通話画面で[転送]を押して、転送保留にします。
※通話中の相手には保留音が流れます。

2.転送先の電話番号をダイヤルする(転送元)

転送画面でテンキーを押し、電話番号を入力します。
※[転送]を押すと、元の通話に戻ります。

3.呼び出し中に終話する(転送元)

[通話]、または[決定]を押して、呼び出し音を確認後、[電源/通話終了]を押します。
※転送先は、保留中の相手から直接呼び出されている状態になります。



1 基本操作

■ 電話を転送する(応答後転送)

1.通話中に転送保留にする(転送元)

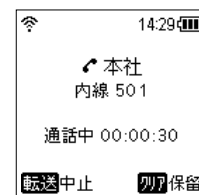
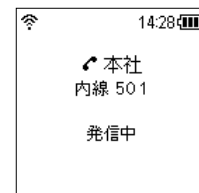
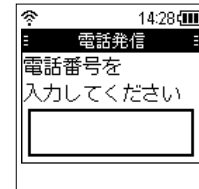
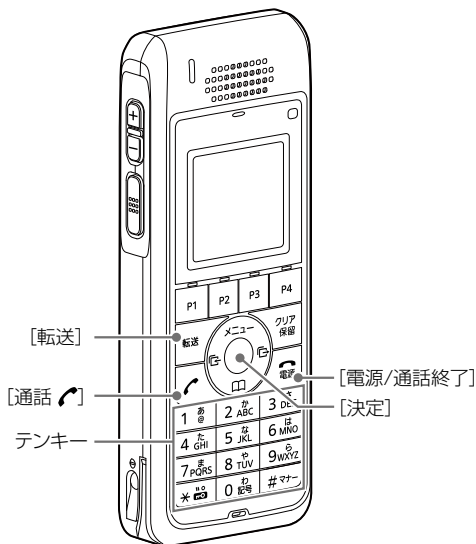
通話画面で[転送]を押して、転送保留にします。
※通話中の相手には保留音が流れます。

2.転送先の電話番号をダイヤルする(転送元)

転送画面でテンキーを押し、電話番号を入力します。
※[転送]を押すと、元の通話に戻ります。

3.転送先の応答を確認し、終話する(転送元)

[通話]、または[決定]を押して、転送先を呼び出して応答を確認後、[電源/通話終了]を押します。
※保留中の相手と転送先が通話を開始します。



1 基本操作

■ 電話を転送する(パーク保留/応答)

1.通話中にパーク保留にしてパーク番号を伝える(転送元)

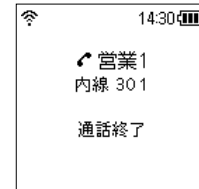
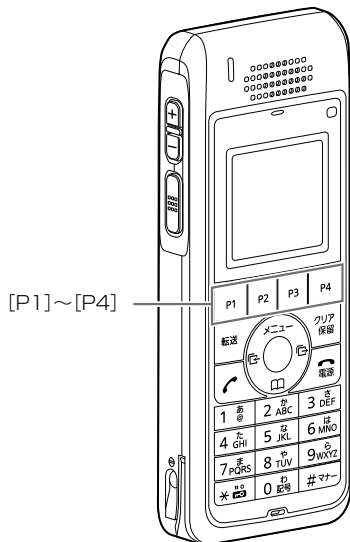
通話画面でパークキーが割り当てられているプログラマブルキー([P1]~[P4])を押して、パーク保留にします。

2.パーク番号を押して応答する(転送先)

プログラマブルキーを押して、応答します。

ご参考

外線通話のときは、外線キーが割り当てられているプログラマブルキーを押して、外線保留/外線応答ができます。



| | |
|----------------------------------|------|
| ■ プログラマブルキー([P1]~[P4])について | 2-2 |
| ■ 外線キー/外線応答(*92) | 2-3 |
| ■ パーク(*90)(*91) | 2-4 |
| ■ 留守電開始/停止(*99)..... | 2-5 |
| ■ 着信おまたせ(*86) | 2-6 |
| ■ 不在転送切替(*94) | 2-7 |
| ■ 不応答転送切替(*95) | 2-8 |
| ■ 話中転送切替(*96) | 2-9 |
| ■ 昼夜切替(*98) | 2-10 |
| ■ 外線着信転送切替(*97) | 2-11 |
| ■ 留守電の再生(*84) | 2-12 |
| ■ コールピックアップ(*81) | 2-13 |
| ■ グループピックアップ(**) | 2-14 |
| ■ 指定ピックアップ(*80) | 2-15 |
| ■ 回線閉塞(*87) | 2-16 |
| ■ 音声呼出(*83) | 2-17 |

2 応用操作

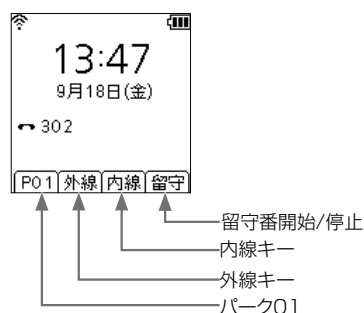
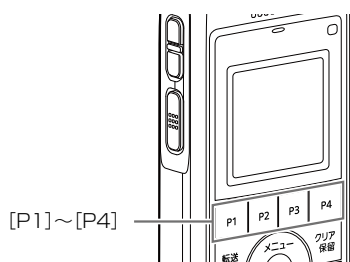
■ プログラマブルキー（[P1]～[P4]）について

よく使う機能をワンタッチで選択するときなどに使用するキーです。

※お買い上げの販売店で、[P1]～[P4]に機能が設定されている場合に使用できます。

| キー割当 | 特番(初期値) | 説明 |
|--------------|--------------------|---|
| ワンタッチ | × | 設定した電話番号をワンタッチで入力する機能です。 |
| 外線キー | *92(応答) | 外線発信時に使用する回線の電話番号、または外線グループを選択できる機能です。 |
| パーク | *90(保留) *91(応答) | 通話をパーク保留して、どの内線子機からでも応答できる機能です。 |
| 留守電開始/停止★ | *99 | 内線子機が使用するボックスについて、留守番電話機能の開始、停止を操作できます。 |
| 着信おまたせ開始/停止★ | *86 | 着信おまたせ機能を設定すると、通話中など登録した内線子機が設定した時間内に応答できないときに、メッセージを流して相手に待っていただけます。 |
| 不在転送切替 | *94 | 不在中にかかってきた電話をほかの電話機に転送する機能です。 |
| 不応答転送切替 | *95 | 電話に応答できないときなど、かかってきた電話をほかの電話機に転送する機能です。 |
| 話中転送切替 | *96 | 内線通話中にほかの内線がかかってきたときに、登録した電話番号に着信を転送する機能です。 |
| 昼夜切替★ | *98 | あらかじめ登録した外線サービスグループごとに、昼間か夜間で、着信したときの動作を切り替える機能です。 |
| 外線着信転送切替★ | *97 | 回線(電話番号)ごとに、外線からの着信をあらかじめ登録した転送先へ転送する機能です。 |
| 留守電の再生★ | *84 | 内線子機が使用するボックスに録音されたメッセージを確認できます。 |
| コールピックアップ | *81 | ほかの内線子機への呼び出しに代理応答できます。 |
| グループピックアップ | ** | 同じピックアップグループに所属するほかの内線子機への呼び出しに代理応答できます。 |
| 内線キー | × | 内線発信時に使用するキーです。 |
| 回線閉塞★ | *87 | 回線閉塞機能を開始、または停止するときを使用します。通話中や不在など、あらかじめ応答できないことがわかっている場合に、回線を話中状態にできる機能です。 |
| 音声メモ | × | 電話通話中の録音を開始、または停止するときを使用します。 |
| 音声呼出 | *83 | ダイヤルした相手を直接音声で呼び出す機能です。ボタンを押してダイヤルすると、呼び出し先の電話機(KXシリーズ、IP200H)のスピーカー機能が有効になります。 |

★VE-PG4では割り当てできない機能です。



2 応用操作

■ 外線キー / 外線応答(*92)

同じ設定グループに所属する内線子機から、外線着信や外線保留に応答する機能です。

【プログラマブルキー操作】

外線キーが割り当てられたプログラマブルキーを押します。

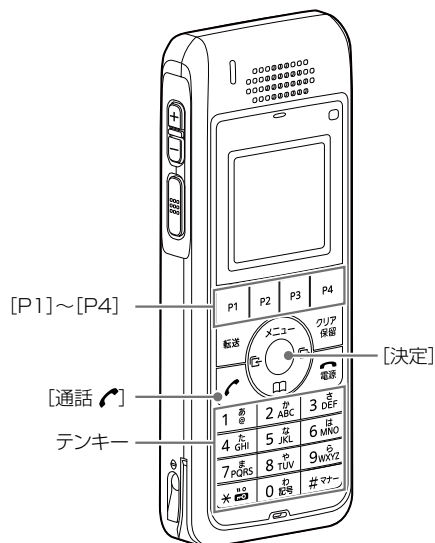
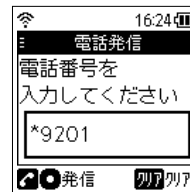
- ◎外線着信時：応答
- ◎外線通話時：外線保留
- ◎外線保留時：応答



【特番操作】

[P1]のキー番号に応答するには、「*92」「01」をダイヤルします。

※[P1]に外線キーが割り当てられていない場合は、「*92」「01」をダイヤルしても、外線応答できません。



2 応用操作

■パーク(*90)(*91)

通話をパーク保留(*90)して、どの内線子機からでも応答(*91)できる機能です。

【プログラマブルキー操作】

パークが割り当てられたプログラマブルキーを押します。

◎プログラマブルキーのLED動作

パーク保留側：緑色点滅

パーク応答側：赤色点滅

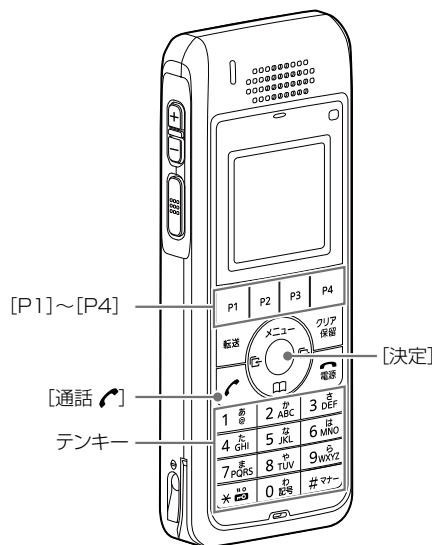


【特番操作】

パーク保留 : 通話中に[転送]を押して、電話発信画面で「*90」「01」(パーク番号(01~24))をダイヤルするとパーク保留します。



パーク応答 : 「*91」「01」(パーク番号(01~24))をダイヤルすると、パーク番号01に保留されている通話に応答します。



2 応用操作

■ 留守電開始/停止(*99)

留守電の開始、または停止をする機能です。

【プログラマブルキー操作】

留守電話機能が割り当てられたプログラマブルキーを押します。

※押すごとに、留守番電話を開始、または停止を切り替えます。

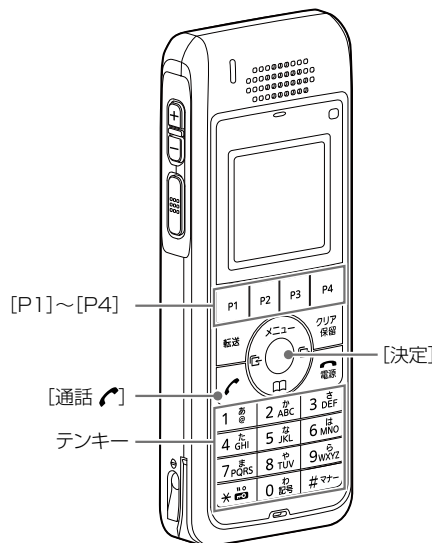
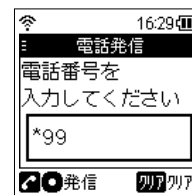
※開始するとプログラマブルキーのLEDが黄色に点灯します。



【特番操作】

「*99」をダイヤルすることにより、電話機に設定された留守番電話ボックスの開始/停止を切り替えます。

※電話機に設定されていない留守番電話ボックス番号(例：03)を使用する場合、「*99」「03」をダイヤルします。



2 応用操作

■ 着信おまたせ(*86)

外線着信時、設定時間内に応答できない場合、メッセージを流して相手に待ってもらえる機能です。

【プログラマブルキー操作】

着信おまたせ機能が割り当てられたプログラマブルキーを押します。

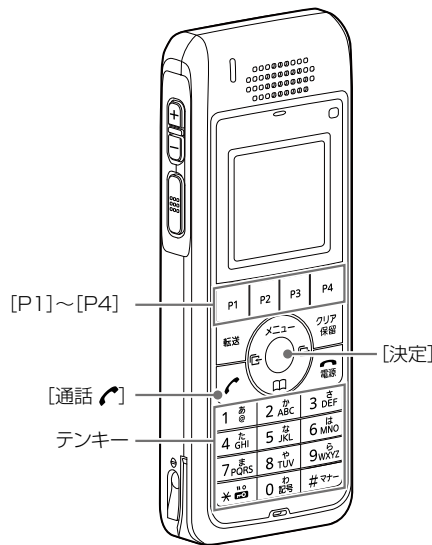
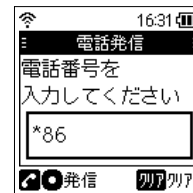
※押すごとに、着信おまたせを設定、または解除を切り替えます。

※設定するとプログラマブルキーのLEDが黄色に点灯します。



【特番操作】

「*86」をダイヤルするごとに、着信おまたせの設定/解除を切り替えます。



2 応用操作

■ 不在転送切替(*94)

圏外などで着信できないとき、または離席などで電話に出られないときなどに、他の内線端末に転送する機能です。

【プログラマブルキー操作】

不在転送切替機能が割り当てられたプログラマブルキーを押します。

※押すごとに、不在転送切替を設定、または解除を切り替えます。

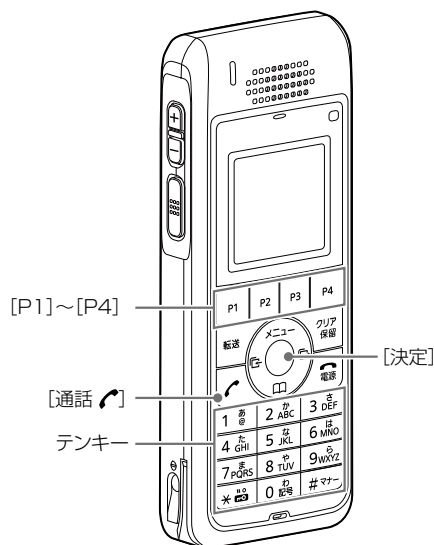
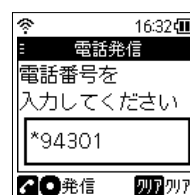
※設定するとプログラマブルキーのLEDが黄色に点灯します。



【特番操作】

内線番号301の端末に転送する場合、「*94」「301」をダイヤルします。

※一度転送先を設定すると、次回から「*94」をダイヤルするだけで、設定/解除を切り替えます。



2 応用操作

■ 不在応答転送切替(*95)

着信中に設定した時間内に応答できなかった場合、他の内線端末に転送する機能です。

【プログラマブルキー操作】

不在応答転送切替機能が割り当てられたプログラマブルキーを押します。

※転送先は弊社製VoIP機器で設定します。

※押すごとに、不在応答転送切替を設定、または解除を切り替えます。

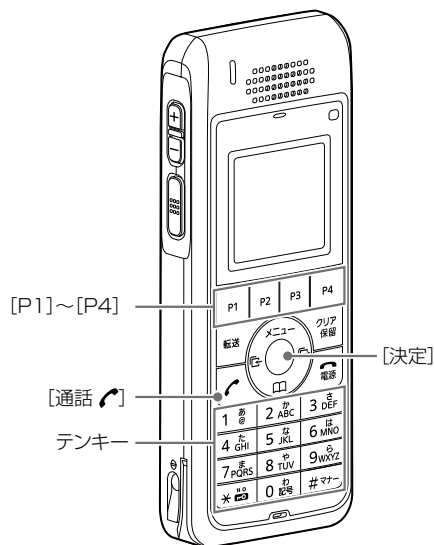
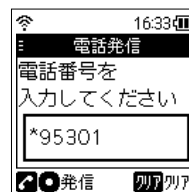
※設定するとプログラマブルキーのLEDが黄色に点灯します。



【特番操作】

内線番号301の端末に転送する場合、「*95」「301」をダイヤルします。

※一度転送先を設定すると、次回から「*95」をダイヤルするだけで、設定/解除を切り替えます。



2 応用操作

■ 話中転送切替(*96)

通話中に内線着信した場合、他の内線端末に転送する機能です。

【プログラマブルキー操作】

話中転送切替機能が割り当てられたプログラマブルキーを押します。

※転送先は弊社製VoIP機器で設定します。

※押すごとに、話中転送切替を設定、または解除を切り替えます。

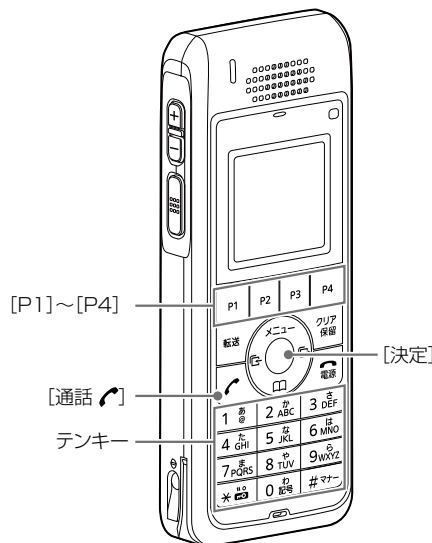
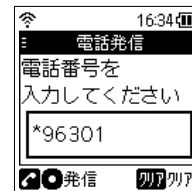
※設定するとプログラマブルキーのLEDが黄色に点灯します。



【特番操作】

内線番号301の端末に転送する場合、「*96」「301」をダイヤルします。

※一度転送先を設定すると、次回から「*96」をダイヤルするだけで、設定/解除を切り替えます。



2 応用操作

■ 昼夜切替(*98)

外線からの着信先を、昼夜で切り替える機能です。

【プログラマブルキー操作】

昼夜切替機能が割り当てられたプログラマブルキーを押します。

※外線サービスグループ番号は弊社製VoIP機器で設定します。

※押すごとに、昼夜切替を「昼」、「夜」に切り替えます。

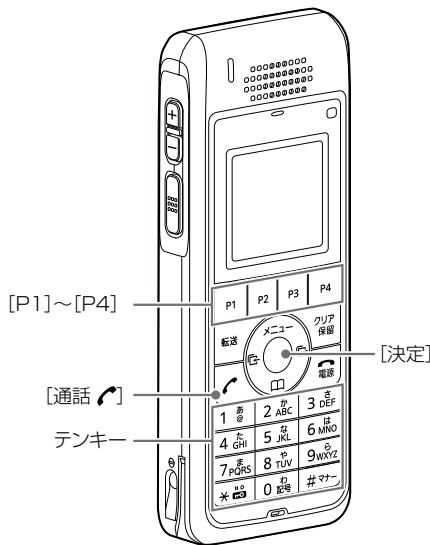
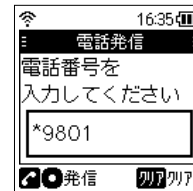
※「夜」に設定するとプログラマブルキーのLEDが黄色に点灯します。



【特番操作】

「*98」につづけて外線サービスグループ番号(01～12)をダイヤルすると、指定の外線サービスグループ番号に対する着信動作の設定を「昼」、「夜」に切り替えます。

※「*98」をダイヤルすると、すべての外線サービスグループに対する着信動作の設定を一括して変更できます。



2 応用操作

■ 外線着信転送切替(*97)

外線着信を他の外線へ転送をする機能です。

【プログラマブルキー操作】

外線着信転送切替機能が割り当てられたプログラマブルキーを押します。

※転送先は弊社製VoIP機器で設定します。

※押すごとに、外線着信転送切替を設定、または解除を切り替えます。

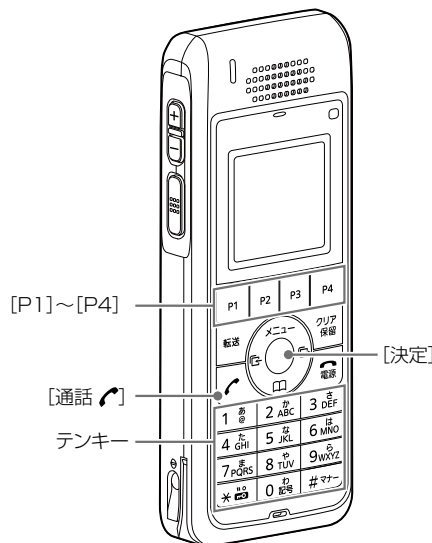
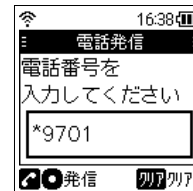
※設定するとプログラマブルキーのLEDが黄色に点灯します。



【特番操作】

プログラマブルキーに機能を割り当てる必要があります。

[P1]に外線着信転送切替が割り当てられている場合、「*97」[01]をダイヤルします。



2 応用操作

■ 留守電の再生(*84)

留守番電話操作メニュー(メインメニュー)にログインする機能です。

【プログラマブルキー操作】

留守番電が割り当てられたプログラマブルキーを押します。

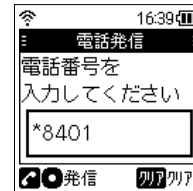
※ログインした状態で、電話機から聞こえるメッセージに合った操作すると、録音内容の再生や各種設定ができます。



【特番操作】

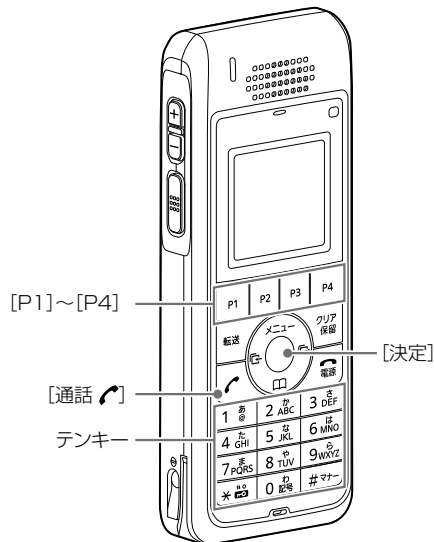
留守番電話ボックス番号01に録音された内容を再生する場合、「*84」「01」をダイヤルします。

※ログインした状態で、電話機から聞こえるメッセージに合った操作すると、録音内容の再生や各種設定ができます。



【メインメニュー】

- 新しいメッセージを聞く : [1]
- 再生済みのメッセージを聞く : [2]
- 留守電話を開始する : [5]
- 留守番電話を停止する : [6]
- メールボックスオプション : [9]
- 終了する : [#]、[電源/通話終了]



2 応用操作

■コールピックアップ(*81)

他の端末の着信に、代理応答する機能です。

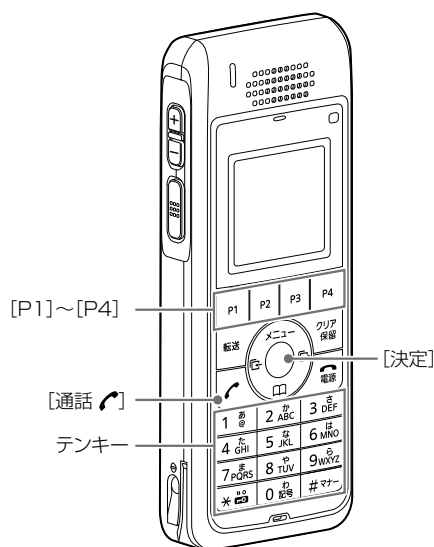
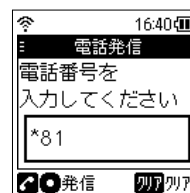
【プログラマブルキー操作】

コールピックアップが割り当てられたプログラマブルキーを押します。

※コールピックアップ対象は弊社製VoIP機器で設定します。

【特番操作】

他の端末の着信に、代理応答する場合、「*81」をダイヤルします。



2 応用操作

■ グループピックアップ(**)

同じピックアップグループに所属する他の端末の着信に、代理応答する機能です。

【プログラマブルキー操作】

グループピックアップが割り当てられたプログラマブルキーを押します。

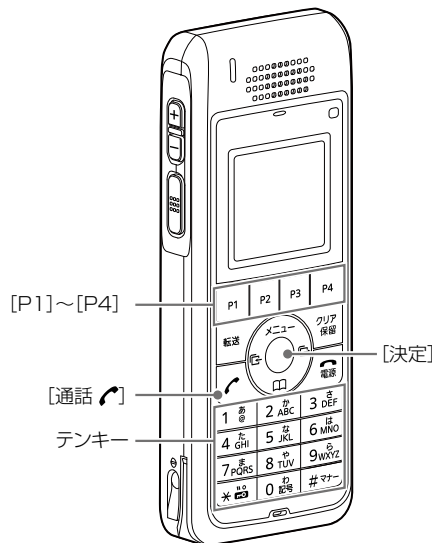
※グループピックアップ対象は弊社製VoIP機器で設定します。



【特番操作】

電話機に設定されたピックアップグループに代理応答する場合、「**」をダイヤルします。

※電話機に設定されていないピックアップグループ(例：03)に代理応答する場合、「**」「03」をダイヤルします。



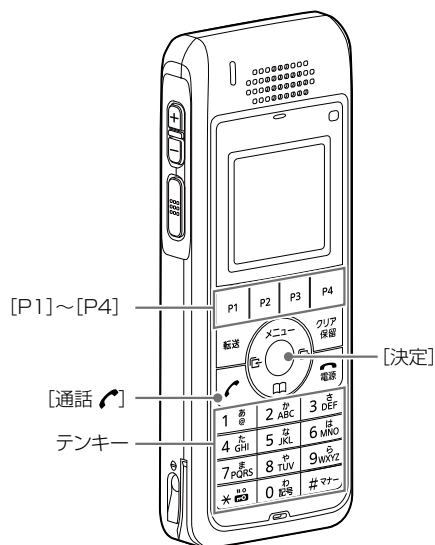
2 応用操作

■ 指定ピックアップ(*80)

指定した他の端末の着信に、代理応答する機能です。

【特番操作】

指定した端末201の着信に代理応答する場合、「*80」「201」をダイヤルします。



2 応用操作

■ 回線閉塞(*87)

通話中や不在など、あらかじめ応答できないことがわかっている場合に、回線を話中状態にできる機能です。

【プログラマブルキー操作】

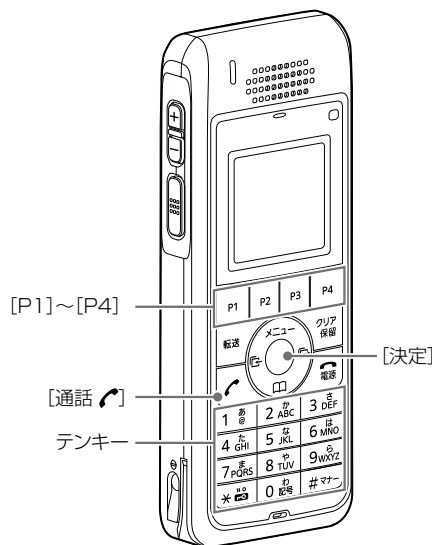
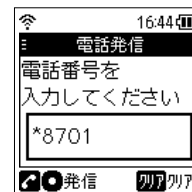
外線キーが割り当てられたプログラマブルキーを押します。

※設定すると外線キーがプログラマブルキーのLEDが黄色に点灯します。

【特番操作】

プログラマブルキーに外線キーを割り当てる必要があります。

[P1]に外線キーが割り当てられている場合、「*87」「01」をダイヤルすることにより、回線閉塞機能の有効/無効を切り替えます。



2 応用操作

■ 音声呼出(*83)

相手先を着信させず、音声で直接呼び出す機能です。

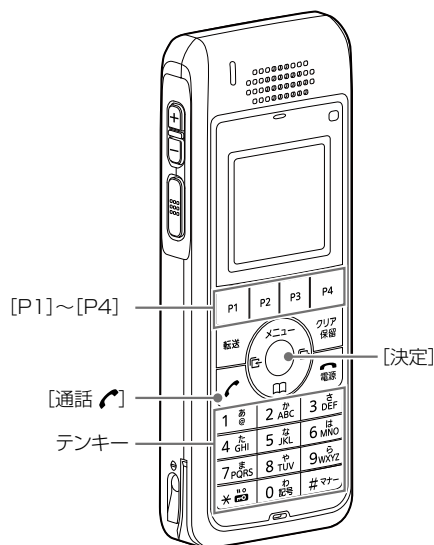
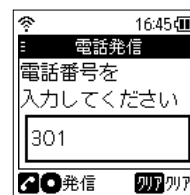
【プログラマブルキー操作】

音声呼出が割り当てられたプログラマブルキーを押して、呼出先の電話機をダイヤルします。

【特番操作】

内線番号301の端末に音声呼出をする場合、「*83」「301」をダイヤルします。

※KXシリーズ、IP200H以外の電話機には、音声呼び出しできません。



| | |
|---------------------------|-----|
| ■ 同時受信時の画面について | 3-2 |
| ◇ 無線通話状態から電話に応答する | 3-2 |
| ◇ 電話通話中に全体呼び出しに応答する | 3-2 |
| ■ 通知補助機能 | 3-3 |

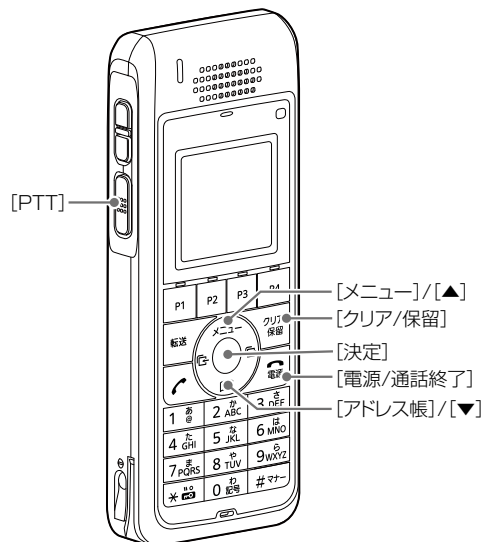
3 デュアルモード時の操作

■ 同時受信時の画面について

無線呼び出しを受信中、または送信中に電話を着信したときは、同時受信中の画面に切り替わります。

◇ 無線通話状態から電話に応答する

1. [▲]/[▼]を押して、「着信中」を選択します。
2. [決定]、または[通話]を押して、電話に応答します。
※応答すると、無線呼び出しは「保留中」に切り替わり、受信している音声はミュートされます。
3. [電源/通話終了]を押して、通話を終了します。
 - 無線呼び出しが継続している場合は、無線通話に戻ります。



◇ 電話通話中に全体呼び出しに応答する

1. [▲]/[▼]を押して、「全体」を選択します。
2. [PTT]を押して、無線呼び出しに応答します。
※応答すると、電話は終話します。
※サーバー側の設定によっては、[PTT]を押しても応答できません。



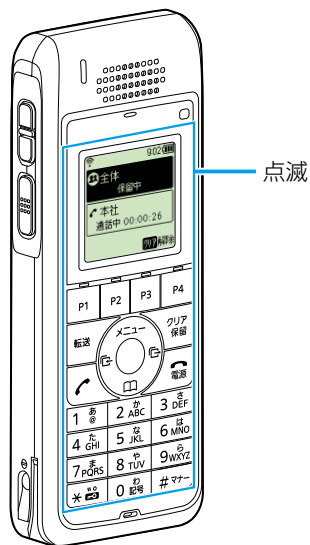
3 デュアルモード時の操作

■通知補助機能

受信したときにバックライトの色を切り替えて、通知を認識しやすくする機能です。

※お買い上げの販売店で設定されている場合に動作します。

無線受信したとき(緑点滅)



| | |
|-----------------------|-----|
| ■ メニュー画面による機能設定 | 4-2 |
| ■ メニュー項目一覧 | 4-3 |

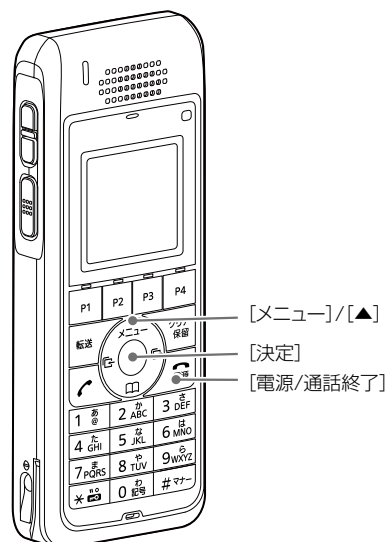
4 各種機能の設定(メニュー画面)

■メニュー画面による機能設定

各機能を変更できるメニュー画面は、基本と詳細の2種類があり、表示される設定項目が異なります。

また、メニューごとに設定項目が構成されていますので、4-3ページ以降をご覧ください。

1. 基本の場合：待ち受け画面で[メニュー]を押します。
詳細の場合：電源を切った状態で、[メニュー]を押しながら、電源を入れます。
起動後、待ち受け画面で[メニュー]を押します。
2. [▲]/[▼]を押して設定する項目を選択し、[決定]を押し、設定内容を変更します。
※適合表示無線設備の番号など認証番号を確認するときは、「メニュー>情報>認証」を選択します。



4 各種機能の設定(メニュー画面)

■メニュー項目一覧

各機能を変更できるSETモードは、メニューごとに設定項目が構成されています。

※基本と詳細の2種類(P.4-2)があり、■欄は、メニュー画面(詳細)で変更できる設定項目です。

※表示される設定項目や初期値は、お買い上げ時の設定によって異なります。

詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

| 項目 | 内容 | 選択肢/設定範囲 |
|------------------------|--|---------------------------------------|
| 機能 | | |
| メッセージ★ ¹ | メッセージを送信する機能 | 設定された一覧を表示 |
| プレゼンス★ ¹ | プレゼンスを送信する機能 | 設定された一覧を表示 ※設定されていない場合は、番号が表示されます。 |
| 近隣呼出★ ¹ | 特定のエリアに限定して運用するとき使用する機能 | OFF、ON |
| トークグループ★ ¹ | 所属するトークグループを選択 | 設定された一覧を表示 |
| 無線録音★ ¹ | 受信した音声を録音する機能 | OFF、ON |
| テンキー呼出★ ² | テンキーで呼出先を入力する機能 | OFF、個別、グループ |
| ワンタッチPTT★ ¹ | [PTT]を短く押すごとに送信と受信を切り替える機能 ※「ON」にすると、送信するときに、[PTT]を押しつづける必要がなくなります。 | OFF、ON |
| アドレス帳 | | |
| 全体★ ³ | 全体呼び出しに設定 | 全体 |
| グループ★ ³ | 呼び出すグループを選択 | 設定された一覧を表示 |
| 個別★ ³ | 呼び出す相手を選択 | 設定された一覧を表示 |
| 電話帳★ ⁴ | | |
| 共通電話帳 | 登録された電話帳から選択 | 設定された一覧を表示 |
| 個別電話帳 | 登録された電話帳から選択 | 設定された一覧を表示 |
| 送信履歴 | | |
| 無線送信履歴 | IP無線機モード、WLAN無線機モード時の送信履歴 | 最大10件 |
| メッセージ送信履歴 | IP無線機モード、WLAN無線機モード時のメッセージ送信履歴 | 最大10件 |
| 電話発信履歴 | IP電話機モード時の発信履歴 | 最大10件 |
| 受信履歴 | | |
| 無線受信履歴 | IP無線機モード、WLAN無線機モード時の受信履歴 | 最大10件 |
| メッセージ受信履歴 | IP無線機モード、WLAN無線機モード時のメッセージ受信履歴 | 最大10件 |
| 電話着信履歴 | IP電話機モード時の受信履歴 | 最大10件 |
| 録音履歴 | 録音履歴を表示 | 最大4件 |

★1 コントローラー側で設定されている場合に表示されます。

★2 「IP無線機モード」、「WLAN無線機モード」時に表示されます。

★3 「IP電話機モード」時は表示されません。

★4 「IP電話機モード」、「IP無線機+IP電話機モード」、「WLAN無線機+IP電話機モード」時に表示されます。

4 各種機能の設定(メニュー画面)

■ 設定項目一覧

| 項目 | 内容 | 選択肢/設定範囲 |
|--------------|--|---------------------------|
| 設定 | | |
| 通信モード | サーバーに接続する通信方法を選択 ※IP無線機モード、IP無線機+IP電話機モードでは設定不可 | WLAN、LTE |
| Bluetooth | | |
| Bluetooth機能 | Bluetooth機能対応の別売品とペアリングするための設定 | OFF、ON |
| 自動接続 | Bluetooth機能の自動接続を設定 | OFF、ON |
| 検索 | Bluetooth機能対応機器の検索 | — |
| ペアリングリスト | ペアリングリストから接続、削除する | 接続、削除、 BTアドレス表示 |
| Bluetooth設定 | | |
| AF出力切替 | Bluetooth機能対応の別売品を接続しているときの、IP200H本体からの音声出力設定 | ヘッドセットのみ、 ヘッドセット+スピーカー |
| 自動切断 | Bluetoothヘッドセットの音声入出力がない状態が設定時間つづいたとき、ヘッドセットとの接続を自動で切断します | OFF、0～10秒 |
| ワンタッチPTT | Bluetooth接続時のワンタッチPTT機能 ※「ON」にすると、Bluetoothマイクロホンの[PTT]を押しつづける必要がなくなります。 | OFF、ON |
| パワーセーブ | Bluetooth接続時のパワーセーブ機能 ※「ON」にすると、通話がない状態が2分つづいたときに、パワーセーブが動作します。 ◎着信があると、自動的にパワーセーブを解除し、受信音出力されます。 ◎送信するときは、1度[PTT]を押してはなすと、「フツ」と音がしてパワーセーブが解除されます。 パワーセーブ解除後に、再度[PTT]を押すと送信できます。 | OFF、ON |
| PTTビープ | Bluetooth接続時のPTTビープ機能 ※「ON」にすると、Bluetoothマイクロホンの[PTT]を押したときにビープ音(ピパ)が鳴ります。 | OFF、ON |
| 本体ボリューム連動 | Bluetooth接続時に使用する音量設定(ボリューム連動機能) ※「ON」にすると、Bluetooth接続しているIP200H本体側の[音量]でも音量を調整できます。 | 無効、有効 |
| エコーキャンセラー | Bluetooth接続時に使用するエコーキャンセラー機能 | OFF、ON |
| 入力ゲイン | Bluetooth接続時に使用するエコーキャンセラーの入力ゲイン | -40dB～40dB |
| 音声遅延 | Bluetooth接続時に使用するエコーキャンセラーの音声遅延 | 0ミリ秒～160ミリ秒 |
| ノイズキャンセラー | Bluetooth接続時に使用するノイズキャンセラー機能 | OFF、ON |
| 自機器情報 | IP200H本体の機器名称、BTアドレスを表示 | — |
| Bluetooth初期化 | ペアリング済み機器をすべて削除 | はい、いいえ |
| ホーム画面 | 待ち受け画面に表示する内容を選択 | 日時表示、カレンダー表示 |
| コントラスト | 表示部のコントラスト(濃淡) | 1～16 |
| 履歴消去 | すべての履歴を削除 | はい、いいえ |
| 録音データ消去 | すべての録音データを削除 | はい、いいえ |
| SIM切替 | 使用するSIMカードの切り替え | SIM1、SIM2 |
| リセット | 初期化(初期値に戻す) | はい、いいえ |
| ファームアップ | 最新ファームにアップグレード | はい、いいえ |

4 各種機能の設定(メニュー画面)

■ 設定項目一覧

| 項目 | 内容 | 選択肢/設定範囲 |
|--------|-----------------------|----------|
| 情報 | | |
| SIP | レジストしているSIPサーバーの情報を表示 | — |
| ネットワーク | 接続している無線ネットワークの状態を表示 | — |
| 端末情報 | 本製品の自局番号、内線番号を表示 | — |
| システム | 本製品のファームウェアバージョンを表示 | — |
| 認証 | 確認証を表示 | — |
| カレンダー | カレンダーの表示 | — |

高品質がテーマです。